

楽しい〜!

地球のエネルギーを体感!!



# 東京・三宅島 ジテンシャ<sup>自転車</sup> ジオトレッキング<sup>山歩き</sup> MAP

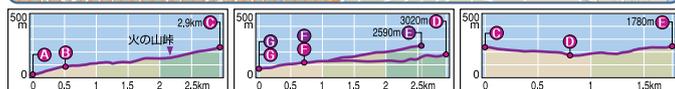
大自然の魅力に溢れる東京「三宅島」。  
ダイナミックな火山活動によって生み出された絶景が続くこの島は、  
サイクリングやウォーキングを楽しむのに最高のスポーツアイランド!  
地球の鼓動を感じる温泉や地元食材を使った  
島グルメなどの魅力も満載です!!



●参考HPアドレス

- 三宅村役場 <http://www.miyakemura.com/>
- 三宅島観光協会 <http://www.miyakejima.gr.jp/>
- 東京都三宅支庁 <http://www.soumu.metro.tokyo.jp/14miyake/miyakehp/>
- アカコッコ館 <http://www.wbsj.org/sanctuary/miyake/>
- 三宅村商工会 <http://www.miyakejima.jp/>
- 東京諸島観光連携推進協議会 <http://tokyo-islands.com>

●発行元／一般社団法人 三宅島観光協会



## 神着ジオトレッキングルート

(A地点～E地点～G地点／距離約7270m、時間約225分)

火山活動によって生み出された枯れ木と新たに再生が始まっている森林が織りなす美しさ、そして眼前にそびえる雄山の景色を楽しめるコース。オフロード区間もあり、とくにA地点からの上りは急傾斜も出現しますが、火の山峠から眺める景色は海側・山側とも最高です!



A地点から「火の山峠」看板に従って上っていくと、枯れ木が美しい区間を通過します

## ジオトレッキング5ルート

火山活動によって生み出されたダイナミックな景色を楽しめる三宅島。島内には「三宅島ジオトレッキングルート」として5つのコースが設定されています。各コースとも島内を一周する「三宅島一周道路」から歩き始め、雄山環状林道まで上り、等高線に沿うように歩いていけば、広大な火山地形の向こうに大海原や伊豆諸島の島々を眺めることができます!

(※雄山環状林道の内側は立入禁止区域。環状林道の南東側は通行不可)

約470m  
about 470m  
約15分  
about 15min  
**A地点**  
A Point

「三宅島ジオトレッキングルート」は、A～F地点に区分され、各地点間の距離と時間が看板に表示されています(本地図の地点と地点間の距離・時間は「三宅島ジオトレッキングルート」と同じです。所要時間は上り・下りに関係なく時速約3kmで算出した数値となっています)。

七島展望台から望む雄山。展望台周辺では、舗装路から離れて溶岩大地の上を歩くことができます



## 地図の見開き方

### →サイクリングを楽しめる方へ

本地図は大きく広げると真ん中に三宅島の全体図を確認でき、地図周囲には「三宅島一周道路」を中心に走る距離約35kmのサイクリングコースを紹介しています。自転車を楽しめる方は、この全体図をご活用ください。

### →ウォーキングを楽しめる方へ

まずは、大きく広げた三宅島の全体図で「三宅島一周道路」のどの地点から上り始めるかチェック。上るルート決定後、大きく広げた地図の片側1/4だけ折り込んで詳細地図をご確認ください。



**伊豆岬サイクリングロード**  
(約8.7km)  
三宅島一周道路から離れ、伊豆岬灯台から続く大海原と火山地形の間を走る、三宅島が誇る絶景ルート



**伊豆岬灯台** (約8.7km)  
明治42年に建造された純白・角柱形の灯台。天気の良い日には富士山なども遠望できる絶景スポット



**三宅島郷土資料館**  
縄文時代から現代までの島の歴史・民俗と火山に関する資料を展示（一般200円）。三宅村立図書館も併設

歩いて散策♡

**火山体験遊歩道** (約2km)  
昭和58年の噴火で溶岩にのみ込まれた阿古小中学校の校舎跡や火山岩を間近で見ることのできる遊歩道



**めがね岩** (約1.1km)  
火山活動と浸食によって生み出されたジオスポット。島屈指の夕景ビューポイントとしても最高!



**ふるさとの湯** (約900m)  
ふるさと体験ビレッジにある温泉（大人500円、小人250円）。夕刻には大海原に沈む太陽を見ながら湯を楽しめます

**錆ヶ浜(阿古)港**  
東海汽船の大型客船も発着する阿古漁船客待合所「ここぼーと」もある港。三宅島観光協会も併設

自転車で島一周 35km スタート!



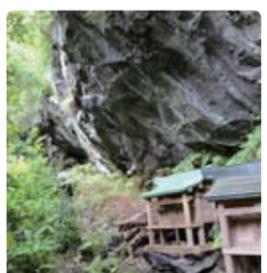
**小金井小次郎の井戸**  
(約11.2km)  
1856年から三宅島に配流された侠客・小金井小次郎が島の水源を確保するため私財を投じて造ったとされる井戸

**旧島役所跡**  
(約13.4km)  
1516年に建造された伊豆諸島最大を誇る木造建築。前庭にある樹齢450年のビャクシンの古樹は天然記念物

**御笏神社**  
(約13.4km)  
1515年に建てられた三宅島の創造主事代主命・后佐伎多麻比咩命を祀る神社。旧島役所跡の道反対側に位置します



**椎取神社** (約16.7km)  
2000年の噴火で溶岩流に巻き込まれ上部だけを見ることのできる鳥居や、火山ガスで枯れた照葉樹林が残るジオスポット



**ひょうたん山・三七山** (約18km)  
ダイナミックな火山地形を味わえるスポット。自転車から降りて溶岩大地を歩くことがオススメの絶景ポイント



**三池港** (約21.2km)  
東海汽船の客船は海の状態によって、島南東側の三池港か南西側の錆ヶ浜港、北西側の伊ヶ谷港に発着します

**三宅島空港** (約22km)  
新中央航空の定期便が発着。三宅島一周道路のすぐ脇にあり、時間が合えばプロペラ機の離発着を見られます

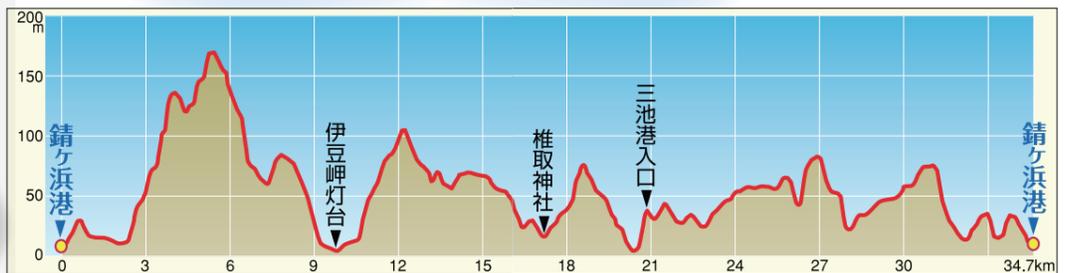
**長太郎池** (約25.2km)  
フィッシュウォッチングやシュノーケリングに最適なタイドプール（潮だまり）。トイレも設置されています

**大路池** (約26.2km)  
周囲2km・水深30mの伊豆諸島最大級の淡水湖。自転車から降りて、野鳥のさえずりを聞きながら歩くのが◎

**アカコッコ館** (約26.2km)  
日本野鳥の会のレンジャーが常駐する自然ふれあいセンター（一般200円）。観察会などのイベントも開催されています

**新濤池跡** (約28.5km)  
爆裂火口の跡にできた神秘的な雰囲気をもった池が、昭和58年の噴火で水蒸気爆発を起こして消滅した跡が広がります

**新鼻新山** (約28.5km)  
昭和58年の噴火時、海底爆発によって一夜で出現した山。幾層にもなった赤と黒の岸壁がダイナミックな絶景を魅せます



ダイナミックな地球の鼓動を感じる絶景  
三宅島をジテンシヤ・ウォーキングで楽しもう!